

週間漁海況情報 2021年第29号

令和3年7月27日発行

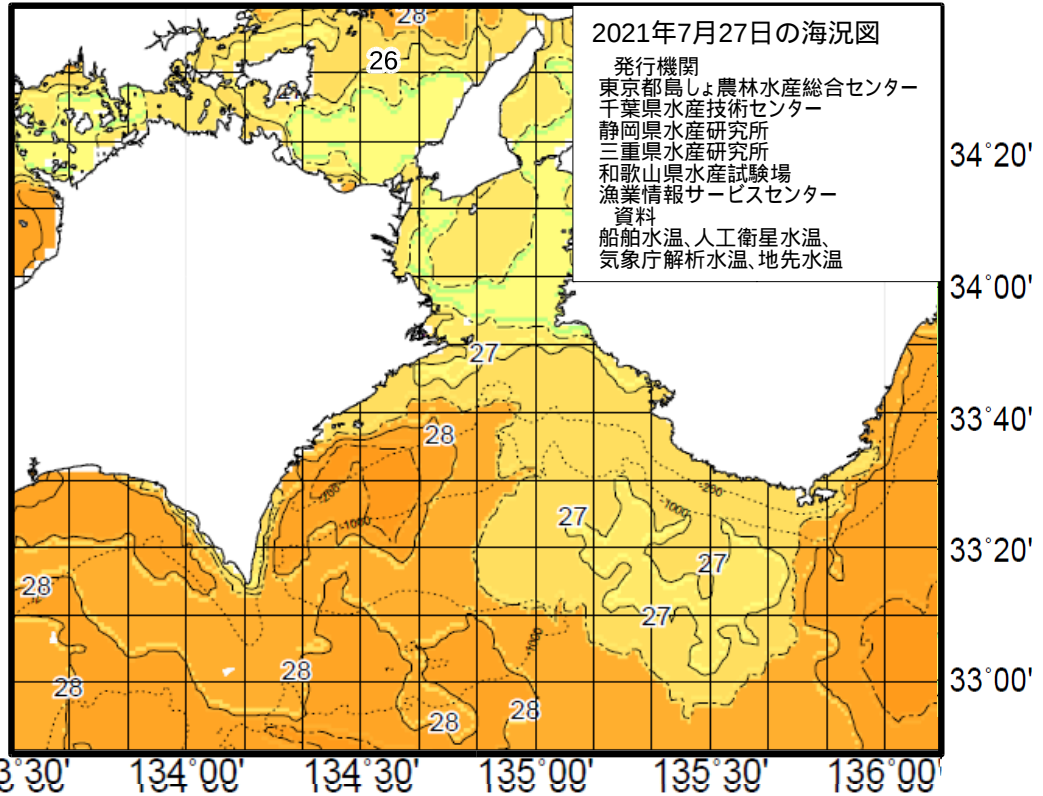
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖34マイル、潮岬沖98マイルを流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」となっている。

黒潮から海部海域へ28 台の強い暖水波及がみられる。黒潮の表面水温は28 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘、紀伊水道が26 台、海部沿岸は26～28 台となった。



黒潮の離接岸の表現

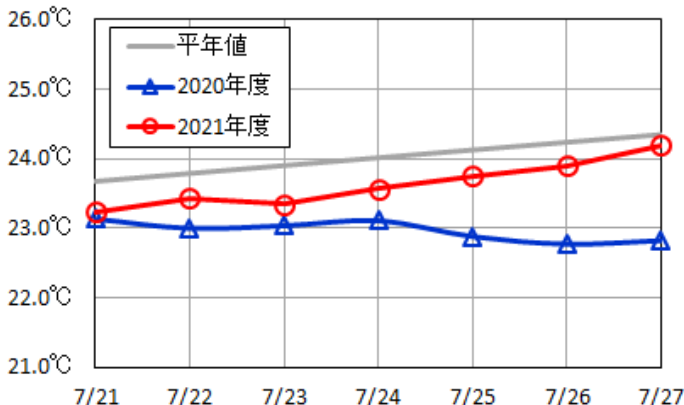
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

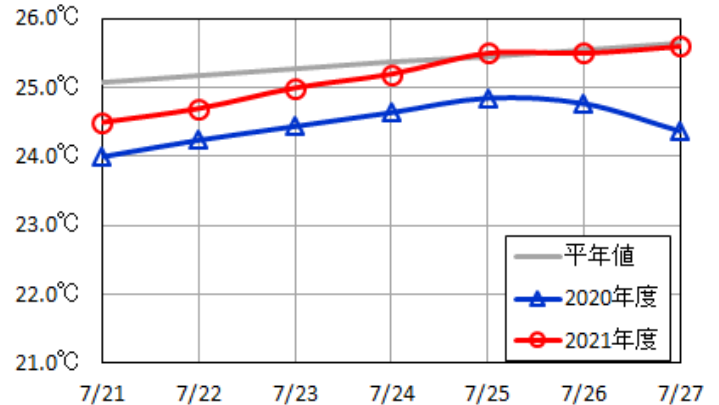
2. 地先水温(2021年7月21日～7月27日)

鳴門地区の水温は23.2～24.2、日和佐地区は24.5～25.6 でいずれも「やや低めから」から「平年並み」に推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は1.3～1.8 になった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上

平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報(7月28日～8月3日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」から「離岸」で、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。
地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「平年並み」に推移する見込み。

漁況 (7月19日～7月25日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが大きく増えて156.3トン水揚げされた。
 釣りでは、マアジが増えて特大主体に0.2トン、サワラが大きく増えて0.2トン水揚げされた。
 延縄では、八モが中主体に10.5トン、タチウオが減って特大主体に0.3トン水揚げされた。
 小型定置網では、イサキが増えて大主体に0.9トン、マサバが増えて大主体に0.6トン、ブリが大きく減って小主体に0.5トン、マアジが0.4トン、マダイが減って0.2トン水揚げされた。
 底びき網では、八モが増えて中主体に13.5トン、マダイが減って0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

延縄では、アカムツが減って0.4トン、あまだい類が増えて0.3トン水揚げされた。
 小型定置網では、マアジが小小主体に0.6トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	125	シラス	156,250	1,250		
	釣り	17	マアジ	221	13	特大主体	
		16	サワラ	207	13		
	延縄	73	八モ	10,498	144	中主体	→
		48	タチウオ	259	5	特大主体	
	小型定置網	15	イサキ	881	59	大主体	
		10	マサバ	553	55	大主体	
		14	ブリ	451	32	小主体	
		20	マアジ	363	18		→
		22	マダイ	241	11		
	底びき網	42	八モ	13,540	322	中主体	
26		マダイ	317	12			
海部沿岸	延縄	20	アカムツ	381	19		
		19	あまだい類	266	14		
	小型定置網	8	マアジ	608	76	小小主体	→

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: